

<PET-CT は・・・>

PET ではがん細胞の活動状況を知ることができます。また、CT では臓器の形をしっかりと映し出すことを得意とします。2 つの画像を重ね合わせてみることにより、正確な診断を行うことが出来ます。

<保険適応について>

当院の PET 検査は保険診療の範囲で検査を受けていただくことが可能です。

PET-CT 検査料として、およそ 9000 点の診療報酬点が算定されます。

※保険適応になるためには（悪性腫瘍）

- ・早期胃癌を除く悪性腫瘍で、診断が確定している。（“疑い”では実施できません）
- ・他の検査、画像診断、病理診断等による精査が行われている。
- ・病理組織学的に悪性腫瘍と確認されている方、病理診断により確定診断が得られない場合には、臨床病歴、身体所見、その他の画像診断所見、腫瘍マーカー、臨床的経過観察などから、臨床的に高い蓋然性をもって悪性腫瘍と診断されている方
- ・悪性リンパ腫での経過観察目的の検査
- ・同一月内に悪性腫瘍の診断目的でガリウムシンチの検査が行われていない
- ・DPC 対応で入院されていない（入院日・退院日を含む）

上記以外は保険適応になりません

<予約方法>

- ・松山赤十字病院 地域医療連携室（TEL：089-926-9527）まで、電話で希望日をお伝えください。検査予約票を FAX で返信いたします。
- ・PET-CT の検査は、14 時からの検査枠で行っています。
- ・診療情報提供書（紹介状）・同意書・問診票を（FAX：089-926-9547）にお送りください。
※必ず空腹時血糖値の記載をお願いします。
※患者控えの同意書は、コピーをお渡しください。（原本は病院保管）
- ・貴院にてこの検査説明書・患者様説明書等を参考にして、同意を得てください。食事や運動制限、糖尿病患者さんではインスリン使用や経口糖尿病薬内服に関しての指導をよろしくお願いします。
- ・検査当日患者さんは「1.紹介受付」にお越しいただき、保険証・診療情報提供書（紹介状）・診療予約受付票をご提示ください。

<予約時間の厳守、予約日変更・キャンセルについて>

- ・検査に使用する薬剤（FDG）は、一定の時間を過ぎると効力がなくなるため、前日に検査薬を発注して当日の検査時間に合わせて届くようになっています。
また、高価な薬であり保存が出来ないため、予約時間を過ぎると検査が行えなくなります。
必ず予約時間の 30 分前までには来院してください。
- ・予約日の変更やキャンセルにつきましてもできるだけ早めに、遅くとも検査前日の 15 時までに（月曜検査の場合は前週金曜 15 時まで）、地域医療連携室（TEL：089-926-9527）にご連絡ください。
- ・PET-CT 画像、放射線レポートなどの検査結果は、翌診療日に郵送いたします。

<PET-CT 検査の限界>

※PET 検査は革新的ながんの検査法ですが、完璧というわけではありません!!

- 良性疾患にも FDG の集積が認められる場合
炎症性疾患・甲状腺腫・大腸ポリープ など
- 癌細胞が占める割合の少ない腫瘍の場合や悪性度の低いがん、一部ががん化している組織など
- 5mm 以下の小さな腫瘍は発見が困難
- 肝細胞癌や腎細胞癌などのぶどう糖の取り込みの低い病変の診断
- FDG が腎臓から尿に排泄されるため、腎臓、尿管、膀胱、前立腺の病変やその周囲の病変の検出
- 過去の手術創や化学療法（抗がん剤治療）、放射線治療部位などにも、集積することがあります。



このような場合は、PET-CT 検査の特徴を踏まえた上で、原因を確かめるために他のモダリティの検査（CT・MRI・超音波検査など）と組み合わせて、総合的に検査する必要があります。

<PET-CT 検査の注意事項>

[検査前]

1. 食事、飲み薬について

- 午前7時までに食事を済ませていただいて、必ずそれ以降より禁止するもの
- 食事 • 飴 • ガムを含めた甘い食べ物 • 糖分を含んだ点滴
- ジュースや缶コーヒー、スポーツ飲料（糖分が含まれています!）などの糖分を含んだ飲料
- お茶や水は制限がありませんので自由にお飲みください。
- ガムは糖分が含まれていないものでも、あごの筋肉に生理的に集積しやすいので控えてください。



病変の部分への ^{18}F -FDG の集まりをよくするためとても大切なことです!

●食事や糖尿病薬の制限について

前日 夕食	当日 朝食	当日 昼食
○普段の夕食 ×飲酒 糖尿病薬を使用されている方は、 服用または注射してください。	△7時までに済ませてください （いつもの7割程度） 糖尿病薬を使用されている方は、 服用または注射してください。	×絶食 （水、お茶は可） 糖尿病薬を使用されている方は、 服用または注射しないでください。

- 下剤の服用 → 胃や腸の蠕動運動が活発になっていると、FDG が集積しやすいため、検査前日及び当日は控えてください。
- その他の薬（糖尿病薬以外）は、水で服用していただいて結構です。

2. 運動制限について

- 検査前日や当日は体に負担のかかる激しい運動、作業などは控えてください。
筋肉などに ^{18}F -FDG が集まりやすく、病変がよく写らないことがあります。
（例：ジョギング、サイクリング、水泳、洗車、重い荷物を持つ など）

3. 糖尿病の患者さん

- ・インスリン注射、糖尿病薬を服用されている方

当日の朝：いつも通り服用または注射してください。

昼：服用または注射しないでください。

- ・**ピグアナイド系糖尿病薬（メトホルミンなど）を服用されている方**
→**検査2日前から検査終了まで休薬してください。**

- ・**検査前の血糖値が 150mg/dl 以上の場合検査の精度が低下します。**また、絶食を忘れた場合や空腹時血糖値が 200mg/dl 以上の方は診断能が低下するため、検査を中止させていただくことがあります。
- ・血糖コントロールが悪く、6 時間以上の絶食中に低血糖発作を起こす危険性のある方の検査はできません。

<PET-CT 検査の流れ>

検査の所要時間は全体で約3時間になります。

注射後は核医学検査室から検査が終わるまで、退出することはできません。

① 受付

- ・検査当日は、13 時 30 分までに「1.紹介受付」にお越しいただき手続きを済ませてから、「外来 17 エリア 核医学検査室受付」をご案内いたします。

② 着替え

- ・貴重品や携帯等をロッカーに預けて、検査着に着替えをしていただきます。

③ 問診

- ・本人様確認後に、問診表の確認、身長・体重および血糖値の検査を行います。
血糖値が高い場合、検査が行えない場合があります。

④ 注射

- ・自動投与器を用いて、放射性医薬品（ ^{18}F -FDG）を静脈から投与します。

⑤ 安静

- ・注射をした FDG が、全身にまんべんなくいきわたるように約 90 分安静にさせていただきます。
- ・安静にしている間、受付時にお渡しする 500ml のペットボトルの水を飲んでいただきます。

⑥ 排尿

- ・FDG は尿中に排泄されるため、検査前に膀胱内の FDG の代謝物をしっかり排泄させるために、待機中には出来るだけ、排尿をしていただきます。

⑦ 撮像

- ・スタッフがナースコールで検査室に誘導します。
- ・撮像中は 30 分間ほど、仰向けで寝た状態で撮像します。

⑧ 安静

- ・FDG は主に尿として排泄されるため、検査終了後は水分を多めに摂取し、出来るだけ排尿した後に退室していただきます。

⑨ 更衣・会計

- ・更衣室で着替えていただきます。その後、お会計を済ませていただき、ご帰宅となります。
- ・ご自宅では、いつもの生活をしていただいて差し支えありません。

4. その他

- 妊娠中の方は PET-CT 検査はできません。
- 水分制限のある方、閉所恐怖症のある方はご相談ください。
- 授乳中の方は、検査後 24 時間は授乳をお控えください。
- **検査当日は、他の科の診察や検査等の予約は控えてください。**
- PET-CT 検査の 1 週間前からは、バリウムを用いた検査（胃透視・注腸検査）、または、胃カメラ、大腸ファイバーの検査も控えてください。
- 紙オムツや尿とりパッド、採尿バックを使用している方は、必ず検査の前後に交換する必要がありますので、交換用に 2 セットを用意してください。

<PET-CT 検査当日>

付き添いについて

医療従事者は放射線被ばくが決められた限度を超えないように法律で定められているため、**スタッフは、患者様の介助につくことが出来ません。そのため、検査中はスタッフの指示に従って 1 人で行動していただくようになります。**

- 移動が車いすまたはストレッチャーの場合
- オムツや採尿バックを使用しており、1 人では交換や廃棄できない場合
※このような場合、介助できる方がいないと安全に検査が行えないため検査できない場合があります。
※付き添いは、注射するときから安静解除となるまで約 2～3 時間必要です。
- **家族だけでは介助できない場合は検査ができません。**
- 介助できる方がいる場合、ごく少量ではありますが、放射線が出ているため介助の方も被ばくします。この被ばくによって何らかの障害がおきる可能性はありませんが、出来るだけ若い女性の方は介助を控えてください。

<PET-CT 検査後>

- 検査後は、微量ですが放射線がしばらく出ています。そのため、検査当日は人ごみなどへの外出は控え、10 歳以下の小児への密接な接触も 12 時間程度は控えてください。
- 授乳中の場合、24 時間は控えておいてください。検査翌日より制限はありません。

<ステロイド剤の服薬について>

- ステロイド剤を服用している患者様には検査終了後に服用するように説明をお願いいたします。